

=====

【ソフト名】 SST G1 アップデートインストーラ

【対象製品】 SST G1 日本語版

【登録名】 G1 Update 2.0.0.36.exe

【著作権者】 株式会社カンバス

【動作環境】 Microsoft Windows2000 / XP / Vista / 7 日本語版

【配布条件】 1) ダウンロードしたファイルの再配布を禁止します。  
2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。

=====

【変更点】 <Ver. 2.0.0.36> 2012.5.15

<CANVASs Open Subtitle File Format のエクスポートに関する修正>

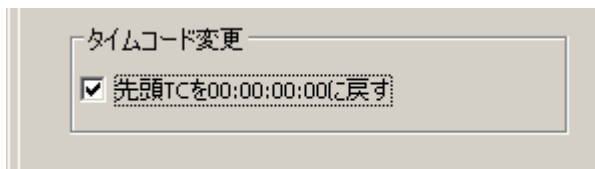
－ 24PとPAL（25フレーム）プロジェクトをエクスポートするとテキストデータのヘッダーが正常に出力されない問題を修正しました。

－ エクスポート機能に「先頭のTCを00:00:00:00に戻す」機能を追加しました。

■使用方法

[ファイル]→[エクスポート]→[CANVASs Open Subtitle File Format]→[詳細タブ]にて、チェックをつけます。

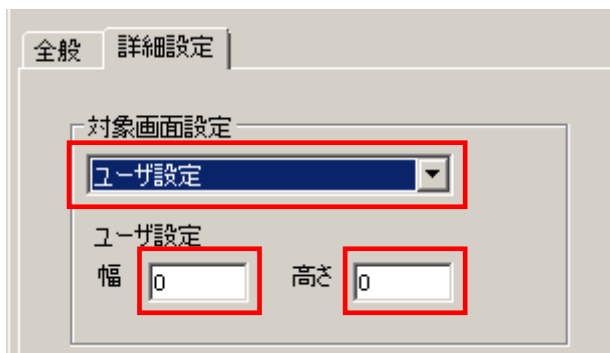
※この機能は、カリーナシステム株式会社製品「Cambria」に字幕データをインポートするための機能です。



－ エクスポートする画像のサイズをユーザー定義サイズで出力できるように修正しました。

■使用方法

[ファイル]→[エクスポート]→[CANVASs Open Subtitle File Format]→[詳細タブ]にて、対象画面設定を[ユーザー設定]にし、幅と高さを入力します。



### <Cine Canvas DLP Cinema XMLのエクスポートに関する修正>

- イメージファイルをエクスポートした際の拡張子「.png」を小文字で出力するよう修正しました。
- スクリプトファイル(.xml)をエクスポートする際に、下記が削除されるよう修正しました。
  - ・ SubtitleID の数字に存在する前後の半角スペース
  - ・ 全てのタブ

### <DVD-Sonic Scenarist formatのエクスポートに関する修正>

- エクスポートするsstファイルのヘッダーに「TV\_Type」と「Tape\_Type」が出力されるよう修正しました。

ScenaristSD Ver. 3.3より、sstファイルのヘッダーに「TV\_Type」と「Tape\_Type」の記述が必須項目となりました。そのため、SSTG1でエクスポートする.sstファイルでこれらの情報が出力されるよう修正しました。

```
.....
Display_Start    non-forced
TV_Type          NTSC
Tape_Type        DROP
Pixel_Area       (2 479)
Display_Area     (0 2 719 479)
Color            (3 9 4 4)
Contrast         (15 15 15 0)
E2              (0 0 0 ==)
E1              (128 128 128 ==)
PA              (255 255 255 ==)
```

### <ビデオトロン/ラムダのインポート・エクスポートに関する修正>

- capファイル内の「DF0」「DF1」の解釈を下記の通りに変更しました。

	DF1	DF0
30Fr DF	○	-
30Fr NDF	-	○
25Fr	-	○
24P	-	○
24Fr	-	○

#### ■SSTG1からcapファイルにエクスポートする場合

プロジェクトファイルのフレームレートを取得し、上記に判断基準に従ってcapファイルのヘッダーに「DF1」または「DF0」のどちらかを記載します。

#### ■capファイルをSSTG1にインポートする場合

capファイルのヘッダーが「DF1」の場合は、SSTG1のプロジェクトファイルを「30FrDF」に設定します。「DF0」の場合はインポート時のSSTG1のプロジェクトファイルの設定に従います。

＜その他全般に関する修正＞

- － 多言語OS環境でのエラーログの文字化けを修正しました。